



는 교실·소통하는 학교·함께 여는



韓国 慶山市を 訪ねて

2022年(令和4年度)

中学生韓国派遣記念文集





この文集は城陽市国際交流協会が主催した、2023年3月28日から31日までの3泊4日の中学生韓国派遣団に参加した市内中学生9人の感想文です。この事業は姉妹都市である大韓民国慶山市への訪問・交流を通して青少年に国際理解を高めてもらう目的で当協会が1994年から実施しているものです。前回はコロナ禍のため残念ながら直前に中止となり、5年ぶりに再開することができました。今回で19回目を迎え172人の中学生が慶山市を訪問しました。

隣国である韓国は、食べ物やアーティスト、アイドル、そして韓国ドラマが日本で人気となっていることもあり、さらに身近な国となっています。今回の訪問は実施する年度ではありませんでしたが、少しでも早く交流を再開したいという私たちの願いを慶山市に受け入れていただき実施することができました。

訪問団に参加した各人の感想文からも、実際に文化や習慣に触れ、慶山市の中学生との交流により、期待以上のことを得られたと読み取ることができます。

将来隣国の仲間として共に歩んでいく礎となり、真に国際的な視野を持った人として成長されることを期待しています。



目 次



				ページ
派遣団の主な日程				2
「韓国に行って」	・ ・ ・ ・ ・	城陽中学校	1年 阪下 和佳奈	3
「素敵な4日間」	・ ・ ・ ・ ・	東城陽中学校	3年 静野 里保	5
「韓国派遣に参加して」	・ ・ ・ ・ ・	東城陽中学校	2年 進藤 玲奈	7
「韓国に行って気づいたこと」	・ ・ ・ ・ ・	南城陽中学校	2年 竹内 紬	9
「今回の国際交流を通して」	・ ・ ・ ・ ・	城陽中学校	1年 名和 なつき	11
「韓国で経験したこと」	・ ・ ・ ・ ・	城陽中学校	2年 西村 若菜	14
「韓国派遣を終えて」	・ ・ ・ ・ ・	城陽中学校	2年 林 きらら	17
「韓国での経験」	・ ・ ・ ・ ・	東城陽中学校	3年 原田 友暖	19
「韓国で学んだこと」	・ ・ ・ ・ ・	南城陽中学校	2年 望月 愛奈	21

※学年は2022年度のものです

あとがき	派遣団団長・城陽市国際交流協会会長	森澤 博光	26
	引率・協会職員	大久保 雅由・蓮佛 明子	

2022 年度派遣団の主な日程

2023年3月28日（火）

城陽市役所を7時00分に出発
 関西国際空港から釜山金海空港へ
 バスで慶山市へ移動
 慶山市長・慶山市議会表敬訪問
 三聖賢歴史文化館見学
 ホテル泊

3月29日（水）

三聖賢中学校訪問
 慶山数学体験センター
 カップウィ（ハ公山）登山
 ホテル泊

3月30日（木）

大邱漢医大韓學村
 KTXでソウルへ移動
 明洞散策
 Nソウルタワー
 ホテル泊

3月31日（金）

景福宮・韓服体験
 仁寺洞
 仁川空港から関西国際空港へ
 城陽市役所に22:00時帰着



慶山市の公式 Youtube
 チャンネルで訪問団の様子
 を見ることができます。
 (3分10秒)



慶山市議会前で記念撮影



大韓民国



慶山市



ハ公山カップウィ

大邱広域市

永川市

PIED ホテル
 数学体験センター
 慶山市役所
 三聖賢中学校
 大邱漢医大韓學村
 三聖賢歴史文化公園

清道郡



「韓国に行って」

さかした わかな
城陽中学校 1年 阪下 和佳奈

私は今回の3泊4日の韓国訪問で色々なことを見て感じました。短い期間でしたがたくさんのところに行って多くの経験をすることができ、とても内容の濃い3泊4日になったと思います。

私が感じたことは大きく3つあります。

まず1つ目は、話すことができることの楽しさです。

私は韓国語は簡単なあいさつで単語程度しか話すことはできません。ですので今回、韓国の中学校に訪問したときも韓国語で話すことはできませんでした。

しかし、私は英語なら会話することができます。今回の中学生との交流でもほとんどお互いに英語で話していました。

翻訳機能を使ってがんばって韓国語で話すこともできましたが、自分の伝えたいことを機械に頼るより自分で考えて自分なりに言葉にしたかったので、翻訳機能は使いませんでした。

まだ、私も韓国の中学生も習っていないフレーズや表現がお互いにたくさんあるので、ジェスチャーや自分の使うことのできるあらゆる手段を使って話すことは難しかったけれど、共通の話題となるととても楽しかったです。



あらためて韓国に行って他国の人と話すことの楽しさについて知ることができました。今は日本なので直接あって話すことはできなくなりました

が、インスタグラムやカカオトークで英語を使ってSNS上で連絡をとりあっています。毎回英語で韓国の友達と話すのはとても楽しいです。

そして2つ目はお互いがお互いの国に関心をもっているということです。

日本でも韓国の食べ物や化粧品、アイドルなどが有名になっています。



そして、それと同時に韓国でも日本の文化や日本の電化製品などが人気です。

先日、韓国の友達がこんなことを言っていました。

「日本に来たらクルトガやパイロットの文房具を買って勉強に使いたい。」

私には身近過ぎて韓国でも買えるものだと思っていましたが、その友達によると韓国で日本の物を買うと約3万ウオンするとのことでした。私はすごく驚きました。3万ウオンというのは日本円にすると約3千円です。日本でクルトガなどを買うとだいたい千円以内にはおさまることが普通でしょう。

逆に日本で高い韓国のを韓国では安く売られていたりします。

やはりお互いがお互いの国や物に関心をもっているため、ものが高くなったりするのだと思います。

でも、まだまだお互いの国へ物や文化がはいつて身近になっていないため、手軽に手に入れることができないような状況なんだと思いました。

お互いの国のさらなる発展にむけて、両国の長所を積極的に取り入れていくことが大切だと思います。

3つ目は韓国という異国の土地でもたくさんのあたたかい人がいるということです。

市役所や中学校、どこにいてもあたたかく迎えてくれる方々がたくさんいて、とてもうれしい気持ちでいっぱいになりました。

どんな状況でも自分があたたかく他人と接していれば、たとえ言葉や人種がちがってもその気持ちは相手へと伝わるということが分かりました。

今回の韓国への訪問ではたくさんのことを学ぶことができました。これまでに3つあげたことだけでなく、いろいろなことを見ることができ、経験することができて、とてもいい3泊4日になりました。

今は世界で物価がどこでもあがっていたり、人口減少や増加による問題もたくさんできてきています。

でも、やはり大切なのは国同士が協力することだと思います。そういった交流の機会を増やすために、こういう交流や訪問が第一歩になると思い

ます。

そして、わたしが感じたように他国の人とコミュニケーションをとるのは難しいけれど、たのしいことをもっとたくさんの人に知ってもらいたいと思いました。



また機会があれば韓国や外国に行ってみたいと思います。そのときにもっともっと会話を楽しくめるようにするためにも、たくさん英語を学んでいきたいと改めて感じました。

韓国の友達とも SNS でたくさん会話をしていきたいと思います。

最後に、今回韓国に行かせて下さった城陽市、国際交流協会のみなさま、両親、そして現地でお世話になったガイドさんや通訳の方々、韓国の市役所の方。本当にありがとうございました。

ブサンキム
城陽市役所～釜山金海空港～慶山市へ

途中に寄ったドライブインで「ソルロンタン」を注文しました



慶山市の豪華バスに3日間お世話になりました！



「素敵な4日間」

しずの りほ
東城陽中学校3年 静野 里保

私はこの韓国派遣団に参加することができて本当によかったです。

韓国派遣があることを知った時、私は「絶対に参加したい!」と思いました。私は兄が参加し、それをきっかけに韓国が大好きになっていたの、そんな素晴らしい国に私も派遣団の一員として行きたいと思ったからです。また、今は学校の授業で国際交流について学ぶ時間がたくさんあります。しかし、授業だけではわからない国際交流を自分自身で知ってみたいと思ったからです。

1日目は、^{キョンサン}慶山市の市役所に行かせてもらいました。市役所で市長のお話を聞かせてもらったり、議会の見学をさせてもらいました。城陽市の方が慶山市よりも人口が少ないけれど、慶山市は議員人数が少ないと知り驚きました。少ない議員の人数で多くの市民のよりよい生活を提供していると知って、すごい!と思いました。

そして1日目の夜ご飯はプルコギでした。私はプルコギはフライパンや鉄板で焼いて食べるものなのだと思っていました。しかしプルコギは鍋で煮込んで食べるものだと知ってとても驚きました。韓国で食べたプルコギはすごくおいしかったです。



2日目は^{サムソンヒョン}三聖賢中学校に行きました。私は中学校に行くことが一番楽しみなことでした。普通の旅行では行くことができない韓国の中学校に行け

るのだとおもってワクワクが止まりませんでした。

最初に学校に入って韓国の友人に会った時、私は緊張して話せませんでした。ドキドキしながら自己紹介をすると笑顔できいてくれて安心しました。日本語だけで話すことや、韓国語だけで話すことは難しかったのですが、お互い習っている英語を使ったりジェスチャーを使ったりして、自分の話したいことを話せたので良かったです。

そして、韓国の友人と話したりした後には体育館で音楽を聞かせてもらったり、テコンドーを見せてもらったりしました。韓国の友人達が私たちのために、一生懸命に練習してくれていたのだと思うと、とても嬉しかったです。その後は一緒に技術室へ行き、ヘアピン作りを体験させてもらいました。作り方がわからず困っていると、ジェスチャーや日本語を使って教えてくれました。韓国の友人と作ったヘアピンは、いろいろな思い出が詰まっていて、私にとってとても大切な宝物となりました。



お昼ご飯は中学校の食堂で食べさせてもらいました。韓国の給食はおかずの数が多くて、ヤクルトやデザートもついていて豪華でした。日本の給食とはちがう味付けでしたが、とてもおいしかったです。給食を幼稚園、小学校、中学校、高校と食べることができる韓国の生徒たちがとてもうら



「韓国派遣に参加して」

しんどう れな
東城陽中学校 2年 進藤 玲奈

私の韓国派遣団に応募したのは、5年前に姉が韓国派遣団に参加させてもらい、韓国の友達がたくさん来て、とても楽しかったと聞いていたので、私も中学生になったら、絶対行きたい！と思っていました。

今まで、グアムやベトナムのダナンに行ったり、城陽市の国際交流の一環でバンクーバーから留学生をホームステイで受け入れる経験をし、外国の文化や交流の楽しさを知って海外への興味がとてもあり、言葉が通じなくても仲良くなりたいという思いがあれば、繋がれると思うので、韓国に行って日本と韓国の友好の架け橋のお手伝いがしたいと思い、応募しました。

韓国行きが決まった時は、嬉しくて嬉しくて、毎日ワクワクしていました。

同じ中学の同じ学年からは1人の参加で、一緒に行くメンバーとは初めてでしたが、出発までの研修会や結団式、韓国の中学生に渡すお土産を一緒に買いに行ったりして、仲良くなり、出発までがより一層楽しみになりました。



慶山市長訪問での挨拶

3泊4日の韓国の旅は、1日目は早朝の出発だったけど、楽しすぎてすぐに目が覚めて準備をして、城陽市役所へ行き、市の大型バスで関空へ送ってもらいました。韓国までは2時間もかからず到着しました。最初に日本円を韓国のウォンに

両替しました。日本円で100円は1,000ウォン、20,000円を両替したら約180,000ウォンで、両替に手数料がかかる事を知りました。

韓国に着いてからの昼食は、すごく辛くて韓国のりのご飯しか食べられなかったです。

豪華なバスで慶山市役所に行き、私は代表で、慶山市役所で市長さんに韓国語で挨拶しました。

今回初めて韓国語を勉強しました。発音が難しく苦戦しましたが、間違えずに前を向いて話せました。

その後は、慶山議会と博物館に行き、歴史の話の話を聞きました。

夜ご飯に色々なキムチを食べていたら、辛さにも慣れてきて食べられるようになりました。

ホテルは3人部屋でとても広く、お風呂にはジャグジーもあって、一緒に部屋の友達と夜遅くまでしゃべって楽しかったです。



三聖賢中学校でヘアピン作り

2日目は朝から、慶山市の中学校に行きました。中学生が走って駆け寄り歓迎してくれて、とても楽しかったです。

韓国の中学生達と一緒にヘアピン作りをしたり、プレゼント交換をして、給食を食べました。給食はビビンバとおかずが3種類とキムチと果物で、私が日本で食べている給食より量も種類も多かったけど、とても美味しかったです。

その後、数学と一緒に勉強し、迷路やクイズを

したけど、ハングル語なのに意外に解けた事が驚きでした。韓国の中学生とは、会話は全く通じないのでジェスチャーと通訳してもらい交流しました。お互いにインスタを交換して帰国してからも繋がれるようにしました。

その後は、登山をしました。階段や坂が急で登るのが大変だったけど、頂上からの景色がとても綺麗でした。



大邱漢医大韓學村 扇子の色付け

3日目は、韓国の民族衣装のチマチョゴリを着せてもらいました。髪の毛も可愛く編んでもらい、たくさん写真を撮ってもらい嬉しかったです。

夜にはソウルタワーに連れて行ってもらいました。ソウルタワーからの夜景はとても綺麗でした。

4日目は韓服を着て景福宮に行きました。前日

に着せてもらったチマチョゴリとは違い、豪華な刺繍がしてあり、とても高貴な感じでした。

お昼にビビンバとトッポギを食べました。両方共、とても美味しかったです。トッポギは予想に反して甘かったです。

最終日だったので、たくさんのお土産を買うのが楽しかったです。時間が全然足りなくて、最後はみんなでコンビニに走ってお菓子をいっぱい買ったのもいい思い出です。

楽しすぎてあっという間の4日間で、もう帰国するんだとすごくさみしい気持ちになりました。お土産には、たくさんの韓国のお菓子、フェイスパック、服、中学生たちからもらったたくさんの文房具などがあり、スーツケースに入りきらなくて、リュックやエコバックをばんばんにして帰国しました。

今回初めて韓国に行くことが出来、韓国の皆さんと交流し、様々な素敵な体験をし、一緒に笑ったり、考えたり、写真を撮ったり、普段出来ないとてもいい体験をさせてもらい感謝しています。

森澤団長、大久保さん、蓮佛さん、一緒に参加したみんなとかげがえのない思い出を作ることができました。本当にありがとうございました。すごく楽しかったです！！



PIED ホテル

3月28日・29日の宿泊先
慶山市の隣、大邱広域市の寿城アルファシティという産業団地にある新しいホテルに宿泊しました



ホテル周辺は建設ラッシュ



ホテル横の桜並木



ジャグジー付きのバスタブ





「韓国に行って気づいたこと」

たけうち つむぎ
南城陽中学校2年 竹内 紬

私は、祖父に韓国の良いところをたくさん知ってもらうためにこの韓国派遣に参加しました。私が韓国の中学生と仲良くなれば、祖父が少しでも韓国への偏見を捨ててくれると思ったからです。しかし、韓国に行って得たものは、それだけではありませんでした。

私たちは、韓国で滞在の2日目に三聖賢^{サムソンヒョン}中学校を訪問しました。三聖賢中学校の皆さんは、私たちを歓迎してくれました。私たちが韓国語で挨拶をしたのと同じように、直接交流した人たちはみんな日本語で挨拶してくれました。私は韓国語をほとんど話せず、基本会話のプリントを見ながら拙い韓国語で話したり、日本語や英語を織り交ぜたりしながらしか話せませんでした。中学生の皆さんは、一生懸命理解しようとしてくれました。



サムソンヒョン
三聖賢中学校での挨拶

また、私に伝わるように簡単な言葉や英語で言い換えて話してくれて、中にはとても上手な日本語で話してくれる人もいました。

聞けば、日本の中学生が来るので、頑張って練習してくれたそうです。それでもまだ言語の壁はありましたが、一緒に工作をしたり脱出ゲームに挑戦したりするうちに、身振り手振りを交えながらなんとかコミュニケーションがとれるようになりました。

私は、言葉がきちんと通じなくても、こんなに仲良くなれるものなのだと驚きました。

三聖賢中学校を出発するときは、SNSの連絡先を交換しました。メッセージを送ってくれる人の中には、日本語で好きな日本のアニメや映画を教えてくれる人もいました。日本のものが好きだという人がたくさんいて、嬉しかったです。



私は、ドラマや音楽、食べ物など韓国のいろいろな文化が好きですが、実際に韓国に行って現地の食べ物が食べられるか少し不安に思っていました。日本でも韓国料理を食べることはありましたが、それは日本人好みに味付けされたものだと思っていたからです。

韓国に行って食べた料理は、確かに日本で食べるものと少し味は違っていました。とても美味しかったです。私は、国が違うだけで韓国の人のことをどこか私たち日本人と違う人だと思ってしまっていました。私も、無意識のうちに線を引いてしまっていたのです。辛いものなどは人によるかもしれませんが、美味しいものは誰が食べても美味しいということに気づき、今まで遠くに感じていた韓国の人たちに親近感がわきました。

最後の日には、韓国の伝統的な衣装チマチョゴリを着て、昔王様が住んでいた建物に行きました。韓国時代劇ドラマのような世界観を体験できて、とても楽しかったです。

また、韓国の文字であるハングルを作った、1万ウォン札の顔になっている王様について学び

ました。その王様は、自分の国の国民は目もあり手もあるのに、文字を読めず、書けないことを思い悩み、母音と子音を組み合わせて作るハングルを、私たちが行った建物で考え出したそうです。今では、ハングルは世界で最も科学的な文字として知られ、誰でも簡単に覚えることができるそうなので、私も頑張って勉強してみようと思います。

私は、今回韓国に行くにあたり、たくさんの人にお世話になりました。買い物をするときは、店員さんが手助けをしてくれて、私が韓国語を理解できないときには日本語や英語で伝えてくれました。一度、急いでいて買った商品をお店に忘れてしまったことがあったのですが、走って追いかけてきて商品を渡してくれました。

屋台で食べ物を買ったときは、値段を韓国語で言われてわからずにいたらジェスチャーで教えてくれて、覚えたばかりの韓国語で美味しいと伝えたら、とても喜んでくれました。

ガイドの尹^{ユン}さんには、韓国の歴史や文化についていろいろなことを教わり、ホテルの設備でわか

らないことがあったときは、スタッフの人に聞きに行ってくれました。



他にも、^{キョンサン}慶山市の市長さんや通訳の方、城陽市の国際交流協会の方など、たくさんの人に助けられて韓国に行くことができました。来年には韓国の中学生が日本に来るそうなので、今度は私が助ける側になりたいです。

貴重な体験をさせていただいたことへの感謝を忘れず、学んできたことをしっかりこれからの生活に役立てていこうと思います。

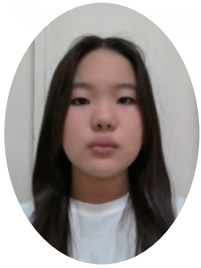


歓迎晩餐会



더반 慶山^{キョンサン}市 ドバン慶山市
韓国のプルコギ鍋と高麗人参の天ぷら





「今回の国際交流を通して」

城陽中学校 1年 ^{なわ}名和 なつき

はじめに

まずはこのような機会を作ってください、誠にありがとうございます。

今回の研修旅行で、新しい事が出来て自分にとって良い経験が出来ました。集中できる環境を整えてくださり、韓国語に打ち込める時間も多かったです。また交流先で出会った友達、ガイドさんにはとても感謝しています。

3泊4日韓国研修では、^{キョンサン}慶山市役所・^{サムソンヒョン}三聖賢中学校に迎えてくださいました。

この研修旅行に応募したきっかけを簡潔に説明させていただきます。元々韓国がとても好きで興味があり、友達に誘ってもらいました。海外に行くのが初めてだったので、不安でしたが心強い友達、また一つの経験として行くことを決断しました。

この研修旅行の準備のために、韓国語の勉強・韓国人の友達に現地の事を聞き、今の現地の現状を聞いたりもしました。「学校の雰囲気が悪かったらどうしよう、現地の治安が不安」などの不安が解消できるように分からないことを積極的にまとめました。このことから、より韓国語の質を上げることができ、人前で自信をもって話せることが出来ました。

1日目

出発の朝早く、前日からあまり眠れず当日を迎え、家族に役所まで送ってもらい、出発し関西空港に着き、私が楽しみにしていた事が、「私の夢が航空業界に就くこと」なので、空港で働く方々を近くで見て、とても嬉しかったし、かっこ良く、より夢への思いが強くなりました。

手続きを終え搭乗し無事、韓国へ着き、ガイドの方と合流し気さくに話してください緊張が解けました。バスで市役所に行き、皆さんが優しく迎

え入れてくださり市の説明を詳しくしてくださいり YouTubeの方が撮影で密着していたので写真撮影をしたりして次に^{サムソンヒョン}三聖賢歴史文化館に行き、歴史人物の展示を見ました。

一番印象に残っている方は韓国を創立したといわれている人です。この大きな大韓民国をつくったと思うとその証拠が残っているのもすごいと思ったし受け継がれていっているものだなと思いました。



最後に歓迎の晩餐をしてくださり無事1日目が終わりました。

2日目

2日目は、主に交流先の中学生と共に行動しました。なんとと言っても一番驚いたのは、学校の規模。校庭の広さ・校舎がとても大きく生徒数が600人強で、そういう学校がたくさんあると聞き驚きました。そして校則の緩さ。サンダル・私服が多い・ピアス・スマホが良いことが驚きました。三聖賢中学校を訪問し、図書室で自己紹介をお互いしあい、中学校の説明し交流しました。言語も違う同士で、つまる事もあったが、自分が知っている言葉で何とか自己紹介・会話ができました。他の生徒が私たちを見に来てくれて、とても日本に興味を持っている事に嬉しく思いました。体育館では部活動のテコンドー、バンドを披露してください、韓国ならではの部活動で不思議で、楽し

かったです。技術室では「ヘアピン」作りをし、自分の名前も印字でき、「世界に一つのヘアピン」が出来て、そこでより一層仲を深められたと思いました。また分からない事を韓国語で聞き、それをきっかけに連絡先を交換、写真を撮って趣味の話で盛り上がり、会って間もないのに良くしてください、同い年の子はもちろん年上の学生とも仲良くなれました。

昼食は給食を食べました。学校の給食は、現地でも、とても美味しいと人気があると教えてもらいました。やはり韓国というのもあって、辛いキムチもあり自分は食べられなかったが、現地の学生は普通に食べられて、「食」も韓国と日本の違いで、さすがだなと思いました。

食べ終わり、その学校とは離れる時、たくさんの生徒さんが最後のお見送りをしてくださいました。通りすがりでハイタッチをし、みなさんとてもノリがよくとても楽しかったです。交流先の代表の子とはそのまま一緒にバスに乗り数学センターに行き「脱出ゲーム」をして上手く言葉を話せゲームを楽しむ事ができました。



最後に「お別れの言葉」を代表で挨拶をしました。

そして別れ、最後の挨拶をかわし「また韓国にくる、日本にも来て！待っている」と言い別れました。

その後カッパウイのある八公山パルゴンサンという山を登り、とても疲れたが達成感があり、登ってよかったと思いました。

夕飯を食べ宿舎に戻り2日目が無事終わりました。

3日目

^{テグ}大邱漢医大韓學村では、扇子に色を付けました。色々な方に上手いと言われてもらえて嬉しかったです。



そのあと韓服を着て、伝統的な挨拶の仕方・礼儀作法を教えてくださいました。他人にする時・親にする時など様々な種類がありました。

KTXに乗り、韓国の首都ソウルに移動し、^{ミョンドン}「明洞」という日本でいう渋谷のようなところで、各々買い物を楽しみ、私はお土産・化粧品・アクセサリーを買うことができました。

夕食を食べ、ソウルタワーを見ました。とても人が多く、時間がかかったものの待ったかいがあり、タワーまではロープウェイでのぼり、高速エレベーターで展望台まで行き、そこから見える夜景がとても「美しい」という言葉で片付けられないほど美しかったです。夜に見たのでまた昼の光景も見てみたいです。

最終日

ソウル市内を見学しました。自分で選んだ韓服を着て、当時王様が住まれていた景福宮キョンボクンを見て周りました。自分がお姫様になった気分での観光客の方に可愛いと言っていただきとても嬉しい気持ちになりました。宮殿は色々な用途で使われており、いろんな事を学ぶ事ができました。

着替えてからは「^{インサドン}仁寺洞」に行きました。明洞ほど栄えてはいなかったが、昔の雑貨が多く、そこでも買い物を楽しめました。

最後の昼食を食べ、空港に戻り無事帰国しました。

最後にこのような機会を設けてくださりとても感謝しています。この経験を生かして今後の人生も頑張りたいと思います。

経験したことで大きな自信ができました。以前は緊張して、他言語で話すことが苦手で、自分から話すことが怖くて話せなかったのですが、「城陽市代表の挨拶」などで恐怖心がなくなり「話すことって楽しいことなのだ」と自信が持てるようになりました。

これから自分が所属している生徒会でも今回で培った力をたくさん発揮していきたいと思えます。

8月に韓国側から日本に訪問できるようにしたいと聞いているので、是非この城陽中学校に来てもらいたいと思います。周りの友達も韓国に興味を持っている子が多いので是非来てもらいたいです。生徒会会議でもこの話を出したいと思っているので真剣に考えています。

この4日間はありがとうございました。またなにか縁がございましたらその時もよろしくお願ひします。



삼성현역사문화관
三聖賢歴史文化館



三聖賢歴史文化公園では、桜が満開でした



三聖賢をモチーフにした現代アーティストの作品展が開催中でした



三聖賢歴史文化公園にはアトラクションの施設もありました





「韓国で経験したこと」

にしむら わかな
城陽中学校2年 西村 若菜

私はこの韓国派遣を通して韓国について色々なことを知りました。

1日目、城陽市役所からバスで行く時、友達と写真を撮ったりお菓子を食ったり韓国のことを話したり、韓国語のクイズだったりとてもワクワクしました。関西空港に着いて荷物を預ける時、私だけ荷物検査引っかけられないか心配でしたが、大丈夫でした。空港では色々な国の人がいて、少し話しているのを聞いてこれはどこの言語だろうなど考えたりするのがとても楽しかったです。

韓国に着いてガイドさんと会った時、綺麗などもよさそうな人で、これからの4日間この人が一緒に来てくれるなら安心だと思いました。私が韓国語を話すと「発音が上手、ほんとに韓国人みたいだね。」と言われたのがとても嬉しかったです。

空港から大きなリムジンバスに乗り慶山市に行く途中お昼ご飯を食べる所に行きました。そのバスでも友達とお話して楽しかったです。お昼ご飯は少し味が薄かったけど、キムチや韓国のりを入れて食べるとすごく美味しかったです。

市役所に行くとき多くの方が私たちを出迎えてくれて、少し恥ずかしかったけど楽しかったです。

市役所の方はとてもいい人が多かったです。

夜ご飯は市役所の方何人かの方と食べました。チャプチェが1番おいしかったのを覚えています。市役所の職員さんにそのカバンとてもかわいいねと言われてとても嬉しかったです。

その日の夜は疲れてすぐに寝てしまいました。

2日目の朝。ホテルのご飯はシリアルにマシュマロが入っていてとても美味しかったです。そこから中学校へ行きました。女の子はみんな声が可愛く、男の子はとても身長が高いい人たちが多かったです。ペアになった女の子と好きなアイドルが同じことで話が盛り上がり、とても仲良くな

れました。一緒にヘアピンを作って2人で写真を撮ってとても親しくなれました。



次にサムソンヒョン三聖賢中学校の生徒と一緒にバスで移動しました。その時仲良くなった隣の女の子がキャンディーをくれて、食べてみると、とても美味しかったです。次の場所に着いてグループごとに脱出ゲームをしました。私たちのグループは日本人3人、韓国人4人でした。韓国人の1番年下の男の子がとても頭が良く鍵をすぐに解いてとてもすごかったです。もう1人の韓国人は鍵をカチャカチャ触っていて、なぜか触っていると開いてしまったそうです。そして問題が解けてドアが開いたけどまだ謎解きがあり、私は鍵ひとつ開けたけど時間内には解けきれなかったです。それが終わるとプレゼント交換をしました。私はひとつ下のウンチャンという男の子と交換でした。ウンチャンが「僕にプレゼントあるの」と聞くから私が意地悪して「ウンチャンだけないよ。」と言ったら、本当に落ち込んでいて可哀想でした。「プレゼントあるよ。」と言って渡してあげると、すごく喜んでとても可愛かったです。

その後山登りをしてとても疲れました。頂上に行くとひとつ願いが叶うと言われて頑張って登りました。頂上には石像があってその前にマットを敷いてお祈りしました。降りる時は走って降りていたけれど、最後は疲れて歩いていると韓国人

のおばさんに話しかけられて、少し話しながら下まで降りました。

その後バスで夜ご飯を食べに向かいました。その日の夜ご飯は鶏肉を醤油で炒めたものでネギ、チーズ、餅、ジャガイモなどが入っていてとても美味しくご飯を2杯食べました。バスでホテルに戻ると疲れてすぐに寝ました。

3日目の朝。私的にはお腹は空いていなかったのですが、食パンをどれだけ食べられるかと思ってパクパク食べていると、知らない間に9枚半食べていました。



大邱漢医大韓學村 扇子の色付け

次にバスで大学まで行って、そこで扇子に色を塗ってチマチョゴリを着てみんなで写真を撮りました。その後お昼ご飯を食べにバスで向かいました。その日のお昼ご飯は酢豚のようなものとジャージャー麺でした。酢豚のようなものにはブルーベリーが入っていて少し甘くてよく分からない味でした。ジャージャー麺は量が多く美味しかったけど食べきれなかったです。次にKTXという日本で言う新幹線のようなものに乗りました。そこで慶山市の方とはお別れになりました。3日間お世話になったきれいな職員の方と写真撮ったりして、最後の慶山を満足出来ました。

ソウルに着くと自由行動があり、私はそこでいっぱい物を買いました。龍の髭という甘いお菓子のような物も買いました。韓国の人みんな安くしてくれてほんとにいい人達だなと思いました。

次に夜ご飯を食べに向かいました。その日の夜はプルコギでとても美味しかったです。その後ソウルタワーに行きゴンドラに乗って上にあがるのに1時間待ちでした。その間は自由行動で、綿菓

子を作る機械があってどうしても食べたかったのにカードでしか払えないみたいで諦めかけていたら、洪さんという少し前まで城陽市国際交流員として5年ほど働いていたお姉さんが、カードで支払ってくれて黄色と水色とピンクのお花の綿菓子を食べられてとても満足でした。ゴンドラで上に行くととても景色がよくて綺麗でした。綿菓子を買った時仲良くなったドイツ人の女の子2人と写真も撮りました。好きなグループが同じで話が盛り上がり、降りる時のエレベーターに並んでいると、たまたまそのドイツ人のお姉さん達と一緒に喋っていました。エレベーターは違うのに乗ったので会うのはこれで最後だったけれど話せてよかったです。次に、ソウルのホテルに着くと荷物をすぐ置いてみんなとコンビニに行って色々買って食べました。ソウルのホテルは慶山のホテルと比べると少し小さかったけれど、とても綺麗な部屋でした。



ソウルでの夕食 (プルコギ)

次の日。最終日。チマチョゴリを着て宮殿に訪れました。何回か転けそうになったけれどつまずくだけで耐えられました。ガイドさんが昔話をいっぱいしてくれて、とてもためになる話だなと思いました。その後の自由行動ではハングルで書かれたスターバックスに行ったりLINEショップなどにも行きました。その日のお昼ご飯はビビンバでした。熱くて全然食べられなかったけどとても美味しかったです。一緒に席だった友達やみんなと4回ぐらいトッポギをおかわりし食べました。

その後空港までバスで向かいました。少し車酔いしたけどすぐに寝て起きると着いていました。空港ではみんなにお菓子を渡したり、カフェで

ジュースを買って飲んでいました。飛行機が少し遅延しましたが13分後に出発しました。飛行機の中では窓側の席が良かったけど違って真ん中の席でした。外を見たかったけど窓を閉められて見られませんでした。

そして関西空港に着いたら、城陽市のバスが迎えに来ていました。城陽市に帰る途中で寄ったド

ライブインで夕食を食べました。私はカレーで私以外はみなラーメンでした。友達にあげたり貰ったりして、久しぶりに日本のご飯が食べられて美味しかったです。

城陽市に着いてみんな顔が疲れていたけれど「楽しかったね」と言って解散しました。

今年で1番の思い出になりました。

パルゴンサン
八公山 カップウィ プチョ

カッ=笠、パウィ=岩、プチョ=仏、直訳すると「笠岩仏」。義玄大師が亡くなった母のために西暦638年にこの如来坐像を造ったと言われています。

頭には平べったい石を笠模様を作っただけ、カップウィ仏という俗名もここから由来していると思われます。



心から願うと一つだけ願い事が叶うといわれており、礼仏をするため全国から昼夜を問わず人々がやってきます



真剣にお祈り！
何をお願いしたのでしょうか



「韓国派遣を終えて」

城陽中学校 2年 ^{はやし} 林 きらら

ドキドキドキドキ。この韓国派遣が決まったときからとても楽しみにしていました。説明会でみんな集まった時みんなと仲良くなれるかな？韓国語話せないけど大丈夫かなと少し不安にもなりました。しかしすぐに仲良くなりみんなと連絡先を交換する仲になりました。また韓国語は城陽市国際交流員許さんが丁寧に教えてくれたのでますます楽しみにになりました。

前日の夜は少し緊張しました。当日朝早く城陽市役所を出発し「あーとうとう今日がきたな。楽しみだな」と思いながらバス中では皆でクイズ大会をしたり写真を撮ったりしていたのであつという間に空港につきました。関西空港から釜山までは約1時間半でつきました。



慶山市長表敬訪問で自己紹介

^{キム}金海空港で韓国のお金に両替をしました。韓国のお金は日本のお金より少し小さく薄く感じました。1,000円が10,000wonなので少し戸惑いました。

韓国に着いてすぐ慶山市の市役所に行きました。^{キョンサン}慶山市の市役所はとても広く驚きました。市役所ではたくさんの人が出迎えてくださってとても嬉しかったです。

市長さんに会ってとても優しい人だなと思いました。市役所の方々に「よろしくお願ひします」の挨拶をしようとした時、緊張しすぎて事前

に覚えておいた韓国語を忘れてしまい残念な思いをしました。

歴史文化公園では、歴史人物のイリョンやソルチョン、ウォンヒョを学べてとても勉強になりました。説明は私たちのために日本語を使い説明してくださったのでとても分かりやすかったです。

その日の夕飯はチャプチェを食べました。

私は韓国料理が大好きでよく家でも作ってもらうのですが、本場でたべるチャプチェは春雨がしっかりしていて味付けも美味しかったです。



三聖賢中学校でヘアピン作り

2日目は中学校訪問しました。みんなとてもフレンドリーで出迎えてくれました。生徒同士ペアになりヘアピンを作りました。言葉はうまく伝わりませんがとても楽しい時間になりました。ヘアピンには韓国語で自分の名前を入れ私の宝物となりました。

お昼は中学生と一緒に給食を食べたのですが量が多くとても美味しかったです。初めて韓国のお友達も来てとても嬉しかったです。生徒と一緒に数学体験センターにも行きました。チームに分かれて謎解きゲームをしました。残念ながら全問正解はできませんでしたがとても嬉しかったです。

次にカッパウイの山に登りました。カッパウイとは標高850mの八公山パルゴンサンの頂上に鎮座している巨

大な仏像です。頭に分厚い石が乗っています。カッパウイまではずっと階段を登って行きます。下半身がとても辛かったですですがそこから見る景色を見た時は最後まで頑張った良かったなと思いました。その日の晩御飯はとても美味しく感じました。

3日目はKTXでソウルに移動しました。ソウルでは自由行動があり色々なお店を回ることが出来ました。屋台でいちご飴を食べました。いちごはとても大きく甘くてすごく美味しかったです。日本では買えない食べ物やお土産を買って嬉しかったです。夜はソウルタワーに行ってソウルの綺麗な夜景を見ることが出来ました。

4日目はずっときてみたかった韓服チマチョゴリを着ることが出来ました。日本の着物と違い簡単に着る事ができ全く苦しくありませんでした。私はピンクを選んで着せてもらいました。この日のお昼ご飯はビビンバを食べました。辛いのを想像していましたが辛くなくてたべやすかったです。空港に向かうバスの中ではとても寂しい気持ちになりました。



この4日間を通して普段では体験出来ない事を沢山させて頂きました。城陽市の姉妹都市にみんなで一緒に行き、たくさんの事を学ばせていただき中学校生活の中での大きな思い出となりました。今回一緒に行った皆さんにとっても感謝しています。この体験を今後の学生生活に活かしていきたいと思います。また韓国に行く機会がある時は是非慶山市に遊びに行きたいです。本当にありがとうございました。

3月30日の食事

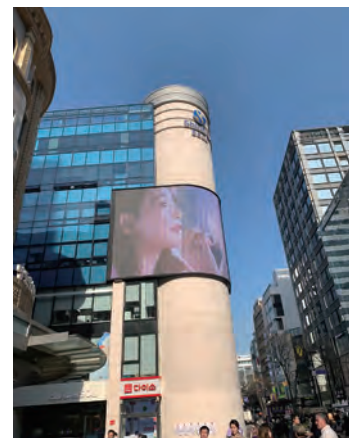


昼食

ジャジャン麺と韓国の酢豚タンスユク
ジャジャン麺にはタンスユクと一緒に食べるそうです



明洞での夕食は、ブルコギ
慶山市の歓迎晩餐会のブルコギ鍋とは、食材も味も違っていました



レストランは明洞の中心部にありました



「韓国での経験」

はらだ ゆの
東城陽中学校3年 原田 友暖

「韓国一緒に行こ！」

そう静野さんに言ってもらいました。それで、この韓国派遣に参加したいと思い行くことに決めました。直接行かないと分からないことの方が多いと思います。だから実際行ってみることで本当の韓国について深く知ることができると思いました。そして韓国に行くことが決まってから初めて韓国語に触れ、文字の成り立ちなどについても知るきっかけになりました。

韓国派遣1日目は慶山市の市長さんにあいさつをし、議会ではビデオで議会室や議員さんの紹介を見ることができ慶山市についてより知ることができました。



また次の三聖賢歴史文化館ではイリョン 一然、ソルチョン 薛聡、ウォンヒョウ 元暁の3人の聖賢の精神と意義を継承、発展させ、民族文化を花咲かせた三聖賢の価値と意味を感じることができました。

2日目は今回の韓国派遣で1番魅力に感じていたサムソンヒョン中学校訪問です。サムソンヒョン中学校は生徒人数も先生の人数も多く、校舎もきれいで大きかったです。韓国の学生が韓国の国技であるテコンドーや音楽を披露してくれて、テコンドーなどは初めて見ることでよかったです。韓国の学校給食は小学校から高校まで無償給食が実施されています。プレートはステンレス

素材の食器が使われていたり、ボリュームがすごくありました。でも時間が15分しかなくおいしかったのに全部食べ切ることができず悲しかったのも思い出です。

慶山数学体験センターでは韓国の友だちと脱出ゲームなどをしました。私はその脱出ゲームを通してたとえ言葉が通じなくても一緒に楽しんだり、相手の笑顔を見たりすると自分も笑顔になることができるんだと思いました。



それから行ったカッパウィでは坂道と階段を登っていった先に綺麗な景色が待っていました。そこではカッパウィの仏像の前でお祈りをする動きもあり、願い事が1つ叶うと言われていました。そこで韓国の文化に触れることができました。

3日目は扇子の色塗りをしました。私は鶴が書かれた扇子を選びました。鶴は長生きの象徴とされています。韓服であるチマチョゴリを着て韓国のお辞儀を知ることができました。韓国のお辞儀にはする相手よっての区別や仕方などがありました。チマチョゴリは民族衣装を示しており、チマはスカート、チョゴリは上着を意味しています。またチマチョゴリに使われている柄にもひとつひとつ意味があったりします。

次に韓国高速鉄道のKTXに乗ってソウルまで移動しました。その距離は約200キロで例えると京都から静岡ぐらいまでの距離とされています。

ミヨンドン

明洞は道に屋台が並んでおり毎日日本のお祭り状態です。それがまた面白かったです。ソウルタワーではソウル市などを一望でき、夜景を楽しむことができました。



サムソンヒョン
三聖賢中学校での交流

4日目は3日目と少し違うドレス風のチマチョゴリを着て、景福宮に行きました。勤政殿の周りは12の干支の石と空想動物で囲まれていました。また韓国ではイノシシ年ではなく豚年とされています。なぜ豚年なのかというと韓国では豚はとても縁起のいい動物で福を招く、特にお金を呼んでくれると言われているためです。ガイドさんが境内を回る際詳しく説明してくださったので景福宮についてたくさん知ることができました。

私が韓国に行って驚いたことは2つあります。

一つ目は食事マナーです。例えば韓国では器は持ち上げない、座る際は立て膝もしくはあぐらをかくなどです。また韓国は個食を好まず大勢で食事することを重視します。その際直箸が基本です。このように日本では食事マナーがなっていないと言われることが韓国では普通なのです。

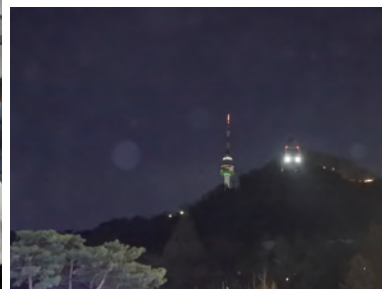
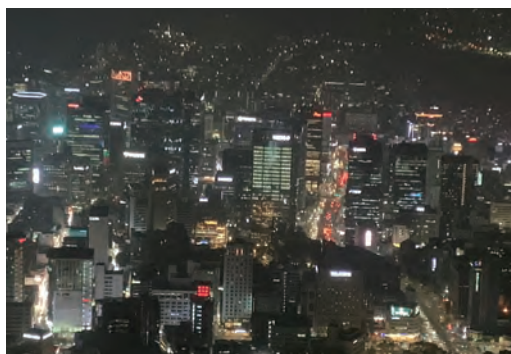
二つ目は道路です。道路の道幅は広く、基本三車線です。韓国はバスの運行が発達しており、大型トラックの運行もしやすくなります。また韓国は車のスピードが日本より速かったり、路上駐車がたくさんありました。路上駐車が多いのは昔から韓国では駐車場に料金を払うような習慣や車庫証明がいないからとされています。

私はこの4日間を通して韓国の文化や言語についてより深く学ぶことができました。そしてさらに韓国について興味を持つようになりました。家族旅行などではできない中学校訪問や中学生との交流をすることができ、多々会話が成り立たない場面もあったけれどどうにか伝えようと手振りをしてみたり英語で言ってみたりと国が違うからこそその面白みなどを感じることができました。実際行くことによって自分の目で確かめることができよかったです。たくさんのお出会いと貴重な経験ができた韓国派遣でした。

Nソウルタワー

236.7メートルの高さを誇るNソウルタワーは、ソウルの中心部にある南山の頂上(標高262メートル)にあり、ソウル市全体を360°のパノラマで見下ろすことができ、素晴らしい景色を楽しめます。

タワーの展望台に上がるエレベーターに搭乗するまでに1時間待ちました。





「韓国で学んだこと」

名城陽中学校2年 望月 愛奈 もちづき まな

今回の韓国派遣団で、私は初めて海外に行きました。

城陽市の姉妹都市である慶山市キョンサンは、学校がたくさんある大きな都市です。姉妹都市になったときは城陽市と同じくらいの大きさでしたが、合併して大きくなったそうです。

そんな慶山市に行ってもまず、市役所と議会の訪問をしました。大きくきれいな施設で、職員の皆さんが笑顔で迎えてくださり、嬉しい気持ちになりました。私は議会であいさつをしました。少し緊張していましたが、感謝の気持ちを伝えることができました。慶山市は「花咲く市民中心の幸せ慶山」というキャッチコピーの通り、市民のことを考えて議論などを行っているそうです。



また、学校でも生徒の皆さんが出迎えてくださいました。今回私たちが訪れた三聖賢中学校は、選択科目があったり、部活の種類が豊富だったり、服装や持ち物が比較的自由だったり、日本の学校よりも自分らしい学びや学校生活ができると感じました。選択科目の中に日本語もあるそうです。私のペアだった生徒さんは日本語を学んでいたそうで、日本語で会話ができました。私はスムーズに韓国語を話すことができず不安でしたが、現地の中学生と一緒に木工をしたり、数学センターで協力して脱出ゲームをしたりする中で仲良くなれ

ました。言葉がわからなくても、簡単な英語を交え、身振り手振りで思いを伝え合うことができ、コミュニケーションに言語は関係ないかもしれないと思いました。



韓国での食事は、慣れないことがいくつかありました。ほとんどにキムチがついていて、日本のキムチより辛く、初めはあまり好きではありませんでした。しかし毎食キムチを食べているうちに辛い物をおいしいと感じるようになりました。食器を持ってはいけなかったので、スープを飲むのも慎重になります。日本の食事は一汁三菜が基本で、主菜のほかに副菜や汁物がついています。一方韓国は、主菜の量が多くて副菜が少なく、豪華な印象を受けました。あっさりしたものが少なく、日本食が食べたくなることもありましたが、どれもとてもおいしかったです。

博物館やカッパウイキョンボックン、景福宮では韓国の歴史や文化について学ぶことができました。韓国は中国からの文化が伝わっているので、日本と似ていることがありました。例えばハンゲルができる前は漢字があったり、儒学を重んじたりしているところでした。景福宮での韓服体験はチマチョゴリを着られる貴重な体験になり、色や柄を選ぶときはとてもワクワクしました。そんなチマチョゴリを着ながら、ハンゲルを生み出した王の部屋や、王の

象徴である竜の天井も観ることができ、昔の韓国人になったようでした。

ソウルタワーや明洞、仁寺洞では自由行動が多く初めは少しだけ怖さもありました。しかし、にぎやかな雰囲気だったのですぐに楽しむことができました。ソウルタワーからはきらきらと輝くとても美しい夜景を見られましたが、夜景が一望できるガラス張りのトイレには驚きました。市場ではお土産をたくさん買い、おいしいものを食べ、充実した時間でした。

この四日間、学び、楽しむ中で、優しい人にたくさん出会いました。買い物をしていて分からないことは、みんな英語やジェスチャーで丁寧に教えてくださいました。ソウルタワーでは日本人のかたが快く写真を撮ってくださいました。飛行機で荷物が取れないと思っていたらアイコンタクトをして荷物を取ってくださいさるかたもいました。住んでいる地域や話す言葉が同じでも違っても、何とかして伝え合うことができ、助け合うことができると感じ、あたたかい気持ちで胸がいっぱいになりました。私ももっと人の役にたてるのではないかと考えさせられる四日間でもありました。

どんな些細なことも、私を成長させてくれました。海外に行き家族ではない人たちと過ごすのは、中学生ではあまり経験できないことではない

でしょうか。違う中学校の仲間たちと行動し、外国の人と仲良くなること、自分で出入国カードを書くこと、言葉がわからなくても勇気を出して訪ねること、そして感謝の思いを伝えること、どれも大切なことです。だからこそ、韓国派遣団に参加して本当に良かったと感じました。



大邱漢医大韓學村 扇子の色付け

これからも城陽市と慶山市が姉妹都市として友好的に関わり、もっとたくさんの人にすてきな姉妹都市であることを知ってもらいたいです。

最後に、今回の派遣団でお世話になった城陽市国際交流協会の皆さん、慶山市、中学生の皆さん、体験をより充実させてくださったガイドさん、通訳さん、バス運転手の皆さん、派遣団の参加を応援し送迎してくれた両親、ほかにも関わってくださったすべてのみなさん、本当にありがとうございました。

韓国の礼儀作法

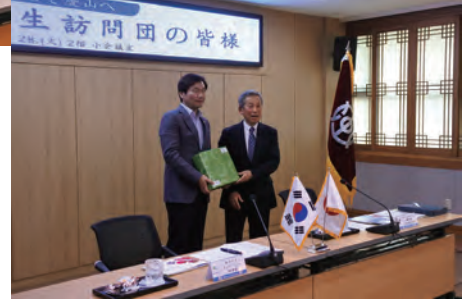
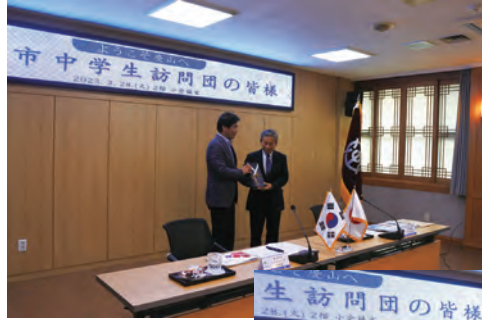
儒教の国韓国では、結婚式やお正月、先祖を祀る法事など際に、お辞儀をします。目上の人に対して行うクンジョル(큰절)という最も丁寧で正式なお辞儀と、少し略式のお辞儀をパンジョル(반절)を教えてくださいました。



森澤団長と大久保事務局長に挨拶！



キョンサン
慶山市長・議長表敬訪問



チョヒョンイル
趙顯逸市長と森澤団長との記念品交換



ミニバックの中にはキーホルダーが入っていました

趙顯逸市長から記念品を一人ひとりに手渡ししていただきました



市議會訪問で
出していただいたフルーツ

市議會訪問での記念品交換

サムソンヒョン
三聖賢中学校



歓迎のイベント
テコンドーとK-POP



韓国では高校まで学校に給食があるそうです。温かいご飯とスープにフルーツまで提供されます。キムチと辛い和え物をトレーにのせていただいたのには驚きました。とても美味しかったです。ご馳走様でした！

キョンサン
慶山数学体験センター



脱出ゲームでは、両市の中学生が力を合わせて、3つの謎を解きました。全問正解したグループは、記念写真を飾っていただけます。



テグ
大邱漢医大韓學村



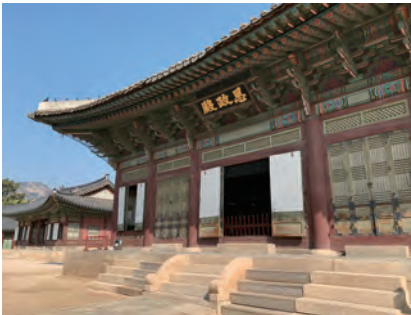
大邱漢医大學村は桜の名所、満開の桜がきれいでした



扇子に色付けをした後は、チマチョゴリ体験



キョンボクン
景福宮



思い思いのチマチョゴリを着て景福宮を散策
まるでタイムスリップしたかのようです



ガイドの尹さんに詳しく景福宮について説明していただきました

文集の発行にあたって

今回の中学生韓国派遣事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあって5年ぶり19回目（1回は諸事情により中止）の開催です。訪問期間の4日間は大変良い天気恵まれ暖かく、派遣中学生9名、引率者3名は、予定通りの派遣行程を終えて、全員元気に無事帰って参りました。所期の目的である、「次代を担う青少年の国際理解をはかること」を十分に果たすことが出来たと思います。



第1日目、^{キョンサン}慶山市役所への表敬訪問では、^{チョヒョンス}趙顯逸市長はじめ、多くの職員の皆様の出迎えを受けました。歓迎式では、派遣中学生みんなが韓国語で立派な挨拶をしてくれました。心温まる歓迎を受け、趙市長から一人ひとりにお土産をいただきました。続いて慶山市議会を訪問して、議場を見学させていただきました。

第2日目、午前10時に、^{サムソンヒョン}三聖賢中学校を訪問いたしました。

中学校へ到着と同時に大変な歓迎を受け、開会行事に続いて、学生同士の挨拶や自己紹介、同校の紹介、学生によるテコンドーのやバンド演奏があり、そして給食体験なども行いました。午後からは、慶山数学体験センターへ移動して、日韓3人ずつ6人の3グループに分かれて、脱出ゲームに挑戦しました。両国の生徒が、言葉の壁を乗り越え協力し合っ
て難問を解いていくゲームです。2グループが時間内に脱出に成功しました。

その後、カッパウィのある標高850メートルの^{パルゴンサン}八公山登山を楽しみました。

第3日目、午前中、大邱漢医大韓學村で扇子のいろ付け体験をしました。その後、韓服に着替えて、^{テグ}韓国式礼儀作法も習いました。午後からは、東大邱駅からKTXでソウル駅まで移動しました。ソウルで

は、市内観光とソウルタワーに登って、夜景を楽しみました。

第4日目、^{キョンボクタン}景福宮で韓服に着替えて、見学いたしました。韓国の歴史と文化について詳しくガイドさんから説明を受け、大変勉強になりました。

そして、^{インチョン}仁川空港から夕方の便で関空へ全員無事に帰って参りました。

今回、派遣団に参加した9人の学生は、勉強して来た韓国語とスマートフォンを駆使して積極的に交流を図り、言葉の壁を乗り越え、国際交流をしてきました。慶山市の生徒たちとの交流を通じて多くの友達が出来たことと思います。いつまでも大切な友として交流を続けて行って欲しいと思います。また、実際に韓国の文化や習慣に触れて感じたことを、これからの人生の中で活かしていただければと思います。



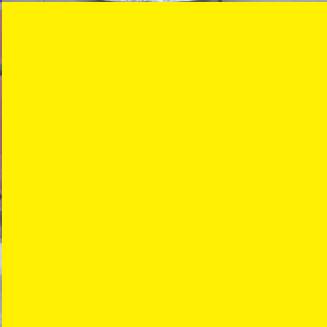
今回、慶山市様には1日目の釜山の^{キムヘ}金海空港の迎えから3日目東大邱駅までの3日間、市職員(2人)、通訳者(2人)の同行が有り、移動は全て慶山市公用バスでお世話になりました。

慶山市はこれまでと同様に、姉妹都市交流を力強く推進されていることを感じました。今後の中学生交流事業の取り組みについては、今回の良いところを反映していければと思います。

結びに、今回の中学生韓国派遣事業に対しまして、奥田敏晴城陽市長はじめ、多くの皆様にご支援とご協力をいただきましたことを心から感謝申し上げます。

2022年度中学生韓国派遣団団長
城陽市国際交流協会会長

森澤 博光



編集・発行
城陽市国際交流協会
〒610-0121
城陽市寺田西ノ口7-4
西邦ビル2階
TEL :0774-57-0713
FAX :0774-57-0714
URL :<https://www.jiea.jp/>

